

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	インターンシップ3		
科目基礎情報						
開設学科	ITスペシャリスト科	コース名		開設期 後期		
対象年次	3年次	科目区分	選択	時間数 300時間		
単位数	10単位	授業形態	実習			
教科書/教材	資料を配布する					
担当教員情報						
担当教員	坂部	実務経験の有無・職種	無			
学習目的						
インターンシップとは、在学期間に自らの専攻や将来のキャリアに関連した就業体験を行うことを指す。本カレッジのインターンシップは、産業界の協力を得て実践的な体験と動機づけにより将来の企業人を育成することを目的とする。インターンシップでは、企業活動の一端に触れることにより、次の事項に関して何らかの学習効果を期待する。1つ目に企業における仕事の流れと仕事の進め方を理解すること。2つ目に企業の組織構造、および組織における人間関係やルールを理解すること。3つ目に学校で学んだ知識が社会でどのように活かせるかを確認し、今後の学習への動機づけをすることである。						
到達目標						
在学期間に自らの専攻や将来のキャリアに関連した就業体験を行い、実践的な体験と動機づけにより将来の企業人を育成することを到達目標とする。具体的には、企業における仕事の流れと仕事の進め方を理解すること。企業の組織構造、および組織における人間関係やルールを理解すること。学校で学んだ知識が社会でどのように活かせるかを確認し、今後の学習への動機づけをすることを目標とする。今後の学生生活で学んだことが活かせるようにインターンシップ前に各自が目標を立ててから参加してほしい。						
教育方法等						
授業概要	インターンシップとは「就労体験」のことである。長期のインターンシップを夏休みに実施している。夏季インターンシップは学校のサポートのもと3年次の8~9月の夏休み期間に実施される。インターンシップの期間は1ヶ月以上。学校の授業で学習した内容を活かす場でもあり、実践的なカリキュラムが各企業で実施される。実習は、受入先企業、あるいはそのユーザ先企業の社内となっている。最終的な評価については各企業の担当の方に依頼する。					
注意点	インターンシップ開始前に担当教員と顔合わせに行く。また、インターンシップ活動賠償責任保険（総合賠償責任保険）に事前に加入すること。勤務時は受入先から特に指定がない場合は原則、スーツを着用する。期間中に電車遅延や体調不良で遅刻・欠勤する場合は必ず電話連絡すること。無断欠勤や勤務時の態度が悪い場合は、インターンシップを中断する可能性があるので、やむ得ない事情がある場合は、受入先企業、担任に速やかに連絡する。その他、社会人として必須のマナーを守ってインターンシップに参加すること。					
評価方法	種別	割合	備 考			
	試験・課題	0%				
	小テスト	0%				
	レポート	0%				
	成果発表 (口頭・実技)	50%	実習期間内に行われる発表方法、内容について評価する			
	平常点	50%	積極的な参加度、勤務態度によって評価する			
授業計画（1回～15回）						
回	授業内容	各回の到達目標				
1回	インターンシップ参加(1)	会社概要、就業規則及び情報セキュリティの説明、実習の内容などを理解する				
2回	インターンシップ参加(2)	他の参加学生と交流しながらグループワークを中心に実習を体験し、協調性などを身につける				
3回	インターンシップ参加(3)	他の参加学生と交流しながらグループワークを中心に実習を体験し、協調性などを身につける				
4回	インターンシップ参加(4)	他の参加学生と交流しながらグループワークを中心に実習を体験し、協調性などを身につける				
5回	インターンシップ参加(5)	他の参加学生と交流しながらグループワークを中心に実習を体験し、協調性などを身につける				
6回	インターンシップ参加(6)	他の参加学生と交流しながらグループワークを中心に実習を体験し、協調性などを身につける				
7回	インターンシップ参加(7)	他の参加学生と交流しながらグループワークを中心に実習を体験し、協調性などを身につける				
8回	インターンシップ参加(8)	他の参加学生と交流しながらグループワークを中心に実習を体験し、協調性などを身につける				
9回	インターンシップ参加(9)	他の参加学生と交流しながらグループワークを中心に実習を体験し、協調性などを身につける				
10回	インターンシップ参加(10)	他の参加学生と交流しながらグループワークを中心に実習を体験し、協調性などを身につける				
11回	インターンシップ参加(11)	他の参加学生と交流しながらグループワークを中心に実習を体験し、協調性などを身につける				
12回	インターンシップ参加(12)	他の参加学生と交流しながらグループワークを中心に実習を体験し、協調性などを身につける				
13回	インターンシップ参加(13)	他の参加学生と交流しながらグループワークを中心に実習を体験し、協調性などを身につける				
14回	インターンシップ参加(14)	他の参加学生と交流しながらグループワークを中心に実習を体験し、協調性などを身につける				
15回	インターンシップ参加(15)	他の参加学生と交流しながらグループワークを中心に実習を体験し、協調性などを身につける				

授業計画（16回～30回）

回	授業内容	各回の到達目標
16回	インターンシップ参加(16)	他の参加学生と交流しながらグループワーク中に実習を体験し、協調性などを身につける
17回	インターンシップ参加(17)	他の参加学生と交流しながらグループワーク中に実習を体験し、協調性などを身につける
18回	インターンシップ参加(18)	他の参加学生と交流しながらグループワーク中に実習を体験し、協調性などを身につける
19回	インターンシップ参加(19)	他の参加学生と交流しながらグループワーク中に実習を体験し、協調性などを身につける
20回	インターンシップ参加(20)	他の参加学生と交流しながらグループワーク中に実習を体験し、協調性などを身につける
21回	インターンシップ参加(21)	他の参加学生と交流しながらグループワーク中に実習を体験し、協調性などを身につける
22回	インターンシップ参加(22)	他の参加学生と交流しながらグループワーク中に実習を体験し、協調性などを身につける
23回	インターンシップ参加(23)	他の参加学生と交流しながらグループワーク中に実習を体験し、協調性などを身につける
24回	インターンシップ参加(24)	他の参加学生と交流しながらグループワーク中に実習を体験し、協調性などを身につける
25回	インターンシップ参加(25)	他の参加学生と交流しながらグループワーク中に実習を体験し、協調性などを身につける
26回	インターンシップ参加(26)	他の参加学生と交流しながらグループワーク中に実習を体験し、協調性などを身につける
27回	インターンシップ参加(27)	他の参加学生と交流しながらグループワーク中に実習を体験し、協調性などを身につける
28回	インターンシップ参加(28)	他の参加学生と交流しながらグループワーク中に実習を体験し、協調性などを身につける
29回	インターンシップ参加(29)	他の参加学生と交流しながらグループワーク中に実習を体験し、協調性などを身につける
30回	成果報告会の実施	各企業で成果報告会の実施、報告書の作成などを実施する